

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

学校名	唐津市立呼子小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「呼子プライドを育む教育」として、地域を題材にした学習や体験活動を通して、地域の良さを知り、地域の一員としての誇りを持つことができた。また学んだことを地域に発信することで自己肯定感を高めることにつながった。</li> <li>・「自分の考えをかく」ことを通して、自分の考えを伝えあう力を伸ばすために、教職員一人一人の指導力の向上を図り、児童の学力向上につながった。</li> </ul>
2 学校教育目標	自他を大切にするとともに、主体的に考え・動く子どもの育成
3 本年度の重点目標	<p>【令和7年度 呼子小重点プロジェクト】</p> <p>①学力の保障 ②ひとりひとりを大切に教育 ③呼子プライドを育む教育（キャリア教育） ④業務改善</p>

4 重点取組内容・成果指標				主な担当者
(1)共通評価項目				
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	○学習内容の基礎的学力・学習規律の定着	○「家庭学習に取り組むように声をかけている」保護者の割合が80%以上(アンケート) ○「家庭学習時間や授業内容を意識した宿題を出したり事後指導したりした」教師の割合90%以上(アンケート) ○児童の学習に対する姿勢をまとめた「学びの構え」に関する項目があるアンケートにおいて、態度に関する6項目で「できている」と答える児童の割合80%以上 ○読書目標冊数達成児童85%以上	・「よぶこっこ学習だより」を学期に1回作成し、はなまるメールにて配信することで保護者への啓発を図る。 ・「レベプリ」と「ぐんぐんタイム」の、全校の共通実践を行う。 ・児童の学習に対する姿勢をまとめた「学びの構え」の教室掲示。また、学びの構えアンケートの実施及びその振り返りから児童の学習規律への意識向上を図る。 ・朝読書の取り組みや必読書の設定を行い、読書を推奨する。	学習部 研究主任 学力向上CO
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「学校は楽しい」と答える児童90%以上(児童アンケート) ○児童集会で自分のふりかえりを友達に話すことができる児童80%以上 ○「友達のがんばりを見つけている」と回答した児童90%以上	・教師が委員会と共に、明るい挨拶・返事を心掛け、児童に手本を示し、徹底する。 ・活動のふりかえりを共有する時間を設定し、共有する。 ・自尊感情を高めるために、帰りの会等で一日をふりかえり自分の頑張りと友達への感謝を認め合う活動を行う。	保体・特活部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について組織的に対応できていると回答した職員95%以上(アンケート) ○「自分や友だちを大切にできた」と回答した児童90%以上(アンケート) ○「学校では道徳や人権教育などがきちんと実施されている」と回答した保護者90%以上(アンケート)	・毎月3月曜日「心のアンケート」を実施して、児童の実態を把握し、早期対応を行う。子ども支援会議の中でも全職員で共通理解を図り、学校全体で児童に対応していく。 ・SCやSSW巡回指導等の外部機関を活用し、授業やカウンセリング等を通して、人との関わり方を学ばせる。 ・QUアンケートを実施し、それを学級づくり生かすための研修を1回行う。	子ども支援部
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」として肯定的な回答をした児童生徒85%以上	・教師が帰りの会や学級通信等で、児童の具体的な良さを認める。 ・地域を生かした学習や夢・目標について考えさせる場面を設け、教科・学校行事等を通して、郷土を誇りに思う心や自己肯定感を高めさせる。 ・キャリアパスポートに学習成果物や学習評価物を整理する機会を、学期に2回設ける。	保体・特活部
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●毎日必ず朝食を食べている児童90%以上	・毎朝、健康チェックの際に朝ごはんの喫食状況を確認し、食べていない日が続く家庭には、状況に応じて連絡を行う。 ・毎月一回程度、家庭へ給食だよりを配布する。 ・給食の放送原稿を作成し、毎日の放送を通して、食への興味・関心をもたせる。	保体・特活部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●業務委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を80%以上の職員が遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上の職員を80%以上にする。 ○業務の効率化のため、物の所在を明らかにする。また、職員間の情報共有を迅速に行うために情報の可視化を行う。	・タイムマネジメントを意識しながら仕事の見直しをもった働き方を全職員で心がける。 ・金曜日の定時退勤日を守る。 ・月末の金曜日は全校5時間授業を行い、定時に帰宅しやすい環境づくりを整える。 ・定時退勤後の30分以内には施設を行う。 ・年休取得がしやすいように、職員の支援体制を整える。 ・全職員で整理整頓を心がけ、月に1度のクリーンタイムを設定する。 ・4月中に職員室の連絡黒板の整備と運用の徹底を行う。	教頭・事務主査
●特別支援教育の充実	○教育活動のUD化 ○特別支援教育の充実	○どの子どもも楽しく理解できる授業づくりのために、各自目標を設定し、その目標が「達成できた。」と答える教師が90%以上(アンケート)	・教職員の特別支援教育についての知識や理解を深める研修を行う。 ・特別支援教育Cを中心とした支援体制のもと、支援を要する児童の実態を把握し、子ども支援会議(月1回)、ケース会議を通して、全職員の共通理解を図ることのできる支援をする。 ・SCやSSW巡回指導等の外部機関を活用する。 ・教師一人一人がUD化に向けた目標をもって取り組む。 ・特別支援教育の理解、啓発のために、保護者に向けた通信の発行を継続する(学期に1回程度)。	特別支援CO 子ども支援部
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
◎呼子プライドを育む教育	○◎いきいき学ぶからつ子育成事業の推進 ○◎地域を題材にした学習や体験活動を通して、地域の良さを知り、地域の一員としての誇りをもつことができる活動の推進	○◎保護者アンケートにおいて、「学校では地域の良さを学ぶ学習に取り組んでいる」と肯定的な回答をした保護者が80%以上 ○◎教師アンケートにおいて、「地域を生かした学習に取り組んだ」と肯定的な回答をした教師が80%以上	・地域を題材とした総合的な学習の時間の見直しと再構築を行い、より充実した活動が展開されるようにする。 ・3、4、5年の総合的な学習の時間を中心に、「地域のひとこと」と関わりながら、呼子の海のよさ・歴史・環境の学習を年間20時間以上実施する。 ・5年生を中心に、【唐津中校区 はたらくプロジェクト】を行い、将来の夢や希望を広く大きくとせるとともに、地元や各企業の魅力を知る機会を設ける。	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	---